

IFA ユース審判員研修会レポート

作成日：2016年12月27日

作成者：育成部長 近間 雅昭・長山 徹

1. 【日程】

2016年12月23日(金・祝日)(8:30集合)

2. 【大会名】

2016 NIKE ANTLETS CUP U-9

3. 【場所】

波崎ジャーニー土合グラウンド(人工芝4面)

4. 【審判員名簿】

5名+2名(女性2名)

片岡 綾斗(那珂高校)・石岡 壇(第一学院高校)・新井 良弥(茨城工業高校)・
野々村 翔(茨城工業高校)・井田 剣也(東洋大牛久高校)

オブザーバー：田井 楓(新2級)(茨城大学)・額賀 美沙子(3級)(藤代高校)

5. 【スタッフ】

近間育成部長・長山 徹

6. 【研修会目標】

ユース審判員の発掘と育成

7. 【研修会スローガン】

元気！

8. 【指導目的】

ユース審判員(4級中心)に対し審判に興味・楽しさを伝える。

U9の試合で3試合の担当をさせ実践を通じ段階的にスキルアップさせる。

9. 【指導内容】

笛・シグナル・基本的コントロール・走りの基礎を習得させる。

1試合目より2試合目、2試合目より3試合目に進歩があるように指導する。

10. 【研修内容報告】

① 近間より研修会趣旨説明

- ・今回のスローガンは元気！
- ・ミスを恐れず思い切ってやること！

② 長山より約10分講和 審判の魅力について

- ・人脈が広がる。
- ・一番いい位置でプレーを見る事が出来る。
- ・サッカーという競技を選手と一緒に作る事が出来る。
- ・色々な人と出会い、社会人マナーを身につけ仕事に活かす事が出来る

重要点→常に感謝の気持ちも忘れないこと。

③ ウォーミングアップ 15分

- ・ブラジル体操
- ・円になって1人1項目の準備運動

重要点→打ち合わせ及びウォーミングアップは、主審がイニシアチブを取って審判団を

まとめる事。

- ④ 審判員と長山でピッチチェック
 - ・ピッチチェックのやり方の説明、ボールの空気圧の確認
 - ・説明が終わったら、自分の担当するピッチをチェック
- ⑤ 実践
 - ・12分ハーフ、1人基本3試合
 - ・競技者1チーム8名 1人審判
 - ・交代は自由、同点はそのまま引き分け
- ⑥ 反省会
 - ・各会場で試合毎にインストラクターを交えての反省会
- ⑦ 閉会の挨拶
スタッフ

11. 【研修に参加しての感想】

*近間 雅昭

4級ユース審判員5名と女子2級・3級の参加者のもと U9 ナイキカップを利用して実技研修会を開講しました。女子2名に関しては研修会慣れしているせいか余裕を感じました。特に額賀さんは自信を持ち堂々とレフェリングしており成長を感じました。田井さんについては対象ゲームのレベルが低く申し訳ない感じでしたがそれでも力を抜くこと無くレフェリングをしている姿に感銘を受けました。

他のユース研修生の皆さんは大変真面目に取り組むことが出来ていました。指導者に見られてレフェリングをするのが初めてなので緊張のためか笛が吹けない何をしたら良いのかわからない状態でしたが3試合目は見違えるように自信を持ってレフェリングすることができていました。もちろん個人的に差はありますが今回の目標である元気な審判員になることは達成できたかなと思います。また自然に仲間意識ができ楽しく会話するこの研修生をみて茨城県の将来は・・・明るいと思再認識しました。

最後にこの研修会を提案してくれました岩瀬総務部長、運営のアントラーズスタッフ、割当、参加者を募集して頂いた競技部スタッフ・2種委員長慶野さん、そして私をヘルプしてくれた長山くんに感謝したいと思います。

*長山 徹

今回初めてインストラクターの立場として、若手審判員育成の研修会に参加させて頂きました。とても勉強になることが多く、貴重な経験をさせて頂きました。

参加させて頂いての感想は、茨城県の若手審判員を育てる為に、こういった研修会を今後も継続することが大切だと感じました。研修員自身も同世代の審判員と触れ合うことが出来て刺激になったと思います。我々インストラクターのやるべき事の1つとして、サッカー審判の魅力若手にもっと知ってもらいたい事だと思います。若手の育成をする事で茨城県サッカー審判委員会の底上げになり、それが委員会全体のレベルアップに繋がると感じました。

また、インストラクターとして、これまで茨城県、関東で学んだ事を教える楽しさを肌で感じる事が出来ました。「こう言えば審判員に伝わるな」、「こうアドバイスすれば次の試合で更によりパフォーマンスをしてくれるな」、など実際に伝えてみて初めて知ることが多かったです。私がアドバイスして、審判員が実践してうまく出来た時、とてもやりがい

感じました。インストラクター自身のレベルアップにも、こういった機会はとても貴重な場だなと感じました。

審判員 1 人 1 人とても頑張っていて試合を重ねる度に、少しずつ上達していきました。その中でも、片岡綾斗氏(那珂高校)は今回の研修員の中で突出していました。基礎が出来ているし、素直な子なのでアドバイスした事を次の試合で、確実に実践出来ていました。彼はまだ 4 級ですが県の様々な研修会に呼んで、強化していくべきだと強く感じました。

今回インストラクターの面白さを知り、とても有意義な研修会になりました。ありがとうございました。

12. 【写真】



以上